# 2017 年度「立命館大学 西園寺記念奨学金 (成績優秀者枠)」要項【変更版】

2017年4月 立命館大学

#### 1. 目的

本奨学金は、学部での正課の学習において努力し、優れた成績を修め学生を「学びの立命館モデル」 の趣旨にそって褒賞し、周囲の学生の学びと成長の模範となることを奨励することを目的とします。

### 2. 給付対象となる回生およびセメスター

1回生後期~4回生(薬学部薬学科は6回生)前期

#### 3. 対象となる学生

給付対象となるセメスターに在籍している者

### 4. 選考の対象となる期間

給付対象となるセメスターの1つ前のセメスター

※セメスターごとの成績を選考の単位とします。

ただし、2017 年度前期に限っては、移行期の経過措置に伴い 2016 年度 1 年間の成績を対象としま す。2017 年度後期は、2017 年度前期の成績を対象とします。

※薬学部薬学科5回生は別表1を確認してください。

※学籍状態が「留学」の学生の取り扱いは以下のとおりです。あわせて別表2を確認してください。

▶ 2016 年度前期から2016 年度後期までが「留学」である場合

前期	2017年度に限っては、移行期の経過措置に伴い、2016年度1年間の成績を対象とします
後期	2017 年度前期の成績を選考の対象とします。

▶ 2016 年度後期から 2017 年度前期までが「留学」である場合

前期	留学期間中の成績は留学期間終了日を含むセメスター(=2017 年度前期)に修得した成
	績として取り扱われます。したがって 2016 年度後期の成績は存在しませんが、2017 年度
	に限っては移行期の経過措置に伴い 2016 年度 1 年間の成績を選考の対象とします。
後期	2017年度前期の成績を選考の対象とします。

▶ 2017年度前期から2017年度後期までが「留学」である場合

前期	2017年度に限っては、移行期の経過措置に伴い、2016年度1年間の成績を対象とします
後期	留学期間中の成績は留学期間終了日を含むセメスター(=2017 年度後期)に修得した成
	績として取り扱われます。したがって 2017 年度前期の成績が存在しませんので、選考の
	対象となりません。

### ▶ 2016年度後期が「留学」である場合

前期	2017年度に限っては、移行期の経過措置に伴い、2016年度1年間の成績を対象とします
後期	2017 年度前期の成績を選考の対象とします。

#### ▶ 2017年度前期が「留学」である場合

前期	2017年度に限っては、移行期の経過措置に伴い、2016年度1年間の成績を対象とします
後期	2017 年度前期の成績を選考の対象とします。

#### 5. 給付人数

学部(学科)、回生ごとに異なります。 別表1を確認してください。

#### 6. 給付金額

(1) 2017 年度1回生後期~3回生(薬学部薬学科は5回生)

学部	給付金額	
法学部、経済学部、経営学部、産業社会学部、国際関係学部、政	セメスターあたり	
策科学部、文学部、スポーツ健康科学部、総合心理学部	150,000 円	
映像学部、理工学部、情報理工学部、生命科学部、薬学部	セメスターあたり	
	300,000円	

#### (2) 2017 年度 4 回生 (薬学部薬学科は 6 回生) 前期のみ

学部	給付金額	
法学部、経済学部、経営学部、産業社会学部、国際関係学部、政	300,000円	
策科学部、文学部、スポーツ健康科学部		
映像学部、理工学部、情報理工学部、生命科学部、薬学部	600,000円	

※2017年度は上記のとおりですが、2018年度以降は全回生が(1)の給付金額となります。

#### 7. 選考基準

全学および各学部で定める基準をもとに選考します。

全学で定める基準:	給付対象となる 1 つ前のセメスター (2017 年度前期に限り 2016 年度		
	1年間)に修得した卒業に必要な単位の GPA		
各学部で定める基準:	別表2を確認してください。		

※GPAが同点の場合の取り扱いについては、別表3を確認してください。

#### 8. 奨学生の決定

選考基準にもとづき、給付人数枠内で優秀者から順に学部が推薦・決定します。

※旧制度(西園寺育英奨学金)では募集要項に基づき学生からの申請を受けて学部で選考していましたが、本制度では学部が対象となる学生を推薦し、当該学生が辞退した場合を除き、奨学生として決定します。

### 9. 奨学生への通知

奨学生の決定通知(受給手続、辞退、奨学金給付証書授与式案内等)を CAMPUS WEB にて通知します。

前期:6月2日(金)13:00(予定) 後期:11月17日(金)13:00(予定)

# 10. 奨学生の公表

学部・学科(専攻等)・氏名をホームページで公表(学内のみ)します。

# 11. 奨学生の辞退について

奨学生となった学生が本奨学金を辞退する場合は、所定の手続きを行なってください。

# 12. 奨学金給付証書授与式

以下のとおり、証書授与式を行います。奨学生は出席してください。

	学部	日時	場所
前期	法学部	7月7日(金)18:20~	洋洋館 955 教室
	経済学部	7月7日(金)18:00~	C107 教室
	経営学部	案内は別途	案内は別途
	産業社会学部	7月7日(金)18:15~	以学館 31 号教室
	文学部	7月6日 (木) 18:10~	※後日案内
	国際関係学部	7月4日 (火) 12:15~12:50	恒心館(予定)※後日別途案内
	政策科学部	_	_
	映像学部	7月3日 (月) 18:00~	映像学部事務室内会議室
	理工学部	案内は別途	案内は別途
	情報理工学部	7月6日 (木) 18:10~	※後日案内
	生命科学部	7月6日 (木) 18:10~	生命科学部教授会会議室
	薬学部	7月6日 (木) 18:10~	後日通知
	スポーツ健康科学部	7月4日(火) 12:20~12:55	アカデミックラウンジ
	総合心理学部	6月26日(月) 14:40~	AC230
後期	法学部	12月15日(金)18:20~	洋洋館 955 教室
	経済学部	案内は別途	案内は別途
	経営学部	案内は別途	案内は別途
	産業社会学部	12月15日(金)18:15~	以学館 31 号教室
	文学部	12月14日 (木) 18:10~	※後日案内
	国際関係学部	12月12日(火)12:15~12:50	恒心館(予定)※後日別途案内
	政策科学部	_	_
	映像学部	案内は別途	案内は別途
	理工学部	案内は別途	案内は別途
	情報理工学部	12月15日(金)18:10~	情報理工学部教授会会議室
	生命科学部	12月14日 (木) 18:10~	生命科学部教授会会議室
	薬学部	12月15日(金)18:10~	後日通知
	スポーツ健康科学部	12月12日(火) 12:20~12:55	アカデミックラウンジ
	総合心理学部	12月25日(月) 16:10~	AN110

### 13. 奨学金の給付方法・時期

手続を完了した者に対して、給付金額全額を一括して給付します。給付は、本人名義の銀行口座へ振込みによって行います。

前期: 8月中旬(予定)

後期: 2月中旬(予定)

## 14. 奨学生の義務

奨学生となった学生は、以下のことが義務付けられます。

- (1) 発表時に氏名公表を行なうことに同意すること。
- (2)他の学生の模範となるよう、選考要項に定める受給者に求める役割を果たすよう務めること。
- (3) 学習成果報告書を作成し提出すること。

#### 15. 奨学生に期待される役割

奨学生となった学生は、他の学生の模範となるよう、学部から ES や学習アドバイザー等として他の 学生への学習支援を行うことを依頼された場合は、積極的にその役割を果たすことが求められます。

### 16. 給付の取り消し

給付条件に同意しないとき、所定の日までに正当な理由なく手続を完了しなかったとき、停学の懲戒をうけたとき、学籍を失ったとき、給付の要件を満たさなくなったときなどは、給付を取り消し、返還を求めることがあります。

詳細は、規程を確認してください。

#### 17. 他の奨学金との併給について

本奨学金は、立命館大学+R Challenge 奨学金と同一年度に併給することはできません。その他の奨学金は、併給することができます。

以上

# 別表1【2017年度の給付人数】

# [法学部]

1回生	2回生	2回生	3回生	3 回生	4回生
後期	前期	後期	前期	後期	前期
14	14	14	14	14	13

# [経済学部]

1 回生	2 回生	2 回生	3 回生	3 回生	4 回生
後期	前期	後期	前期	後期	前期
15	15	15	15	15	13

## [経営学部]

	1回生	2回生	2 回生	3 回生	3回生	4 回生
	後期	前期	後期	前期	後期	前期
経営学科	13	13	13	13	13	10
国際経営学科	3	3	3	3	3	3

# [產業社会学部]

1回生	2 回生	2 回生	3 回生	3 回生	4回生
後期	前期	後期	前期	後期	前期
17	17	17	17	17	17

# [文学部]

1回生	2回生	2回生	3 回生	3回生	4 回生
後期	前期	後期	前期	後期	前期
19	17	18	21	21	19

# [国際関係学部]

		西園寺記念奨学金(成績優秀者枠)						
	春セメ	秋セメ	春セメ	秋セメ	春セメ	秋セメ	春セメ	秋セメ
4月入学生	1 🖪	1 回生 2 回		回生	3 回生		4回生	
9月入学生		1回生		2 回生		3 🗉	1生	4回生
	-	6	6	6	6	6	6	_

## [政策科学部]

1回生	2 回生	2 回生	3回生	3回生	4 回生
後期	前期	後期	前期	後期	前期
7	7	7	7	7	7

※CRPSの1回生後期分は、現行どおり2回生前期枠に含む。

# [映像学部]

1回生	2回生	2 回生	3 回生	3回生	4 回生
後期	前期	後期	前期	後期	前期
4	3	3	3	3	3

# [理工学部]

学科	1回生	2 回生	2 回生	3回生	3回生	4回生	調整枠
	後期	前期	後期	前期	後期	前期	
電気電子	3	3	3	3	3	3	5
機械工学	3	3	3	3	3	3	7
都市システム	2	2	2	2	2	2	0
環境システム	2	2	2	2	2	2	0
ロホ゛ティクス	2	2	2	2	2	2	2
数理科学	2	2	2	2	2	2	1
物理科学	2	2	2	2	2	2	0
電子情報	2	2	2	2	2	2	2
建築都市	2	2	2	2	2	2	0
デザイン							

※調整枠は、学科ごとで配分を検討する。

# [情報理工学部]

学科	1回生	2回生	2回生	3回生	3 回生	4 回生
	後期	前期	後期	前期	後期	前期
情報理工	14	_	_	_	_	_
情報システム	_	2	2	2	2	2
情報コミュニケーション	_	2	2	2	2	2
メディア情報	_	2	2	2	2	2
知能情報	_	2	2	2	2	2

# [生命科学部]

学科	1回生	2 回生	2 回生	3回生	3回生	4 回生
	後期	前期	後期	前期	後期	前期
応用科学	2	2	2	2	2	2
生物工学	1	2	2	2	2	2
生命情報	1	1	1	2	2	2
生命医科	1	1	1	2	2	2

# [薬学部]

	1回生	1回生	2 回生	2回生	3 回生	3 回生	4 回生	4回生	5 回生	5 回生	6回生	6 回生
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
薬学科	_	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	_
創薬	_	1	1	1	1	1	_	_	_	_	_	_
科学科												
全学科	_	4 (上記で採用した者に次ぐ成績上位者から採用)							_			

※薬学科 5 回生後期の給付は、4 回生後期までの累積 GPA にもとづいて選考し給付する。

# [スポーツ健康科学部]

1回生	2回生	2 回生	3回生	3回生	4回生
後期	前期	後期	前期	後期	前期
4	4	4	4	4	4

# [総合心理学部]

1回生	2回生	2 回生	3 回生	3回生	4 回生
後期	前期	後期	前期	後期	前期
5	6	6	_	_	_

# 別表 2 【2017 年度 各学部で定める成績基準 (2017 年度前期分の経過措置を含む)】

学部	学	部が独自に設定する成績基準						
1 HIV	おる	および 2017 年度前期分の経過措置						
	1. 出願・選考を行う直前のセメスターにおける修得単位が 18 単位以上であることまたは出願・選考を行う直前の2セメスターにおける修得単位の合計が36 単位以上であること							
	2. 1. に加えて、学部基础	ととは、	ハること					
	出願・選考セメスター	単位修得の基準となるセメスター	必要単位数					
	第2セメスター	ター 第1セメスター						
	(1回生後期)	(1回生前期)	6 単位					
	第3セメスター	第1・2セメスター	10 光体以上					
	(2回生前期)	(1回生前期・後期)	12 単位以上					
法学部	第4セメスター以降	出願・選考セメスター以前のすべて	16 単位以上					
	(2回生後期以降)	のセメスター						
	注:留学等の事情で学部基礎科目を履修できなかったセメスターがある場合第5セ							
	メスターまでの出願・i	選考については、履修できなかったセメ	スターの割り当					
	て分(第1セメスター6	3 単位、第2セメスター6 単位、第3セメ	スター4 単位)					
	を必要単位数から控除する。第6セメスター、第7セメスターの出願・選考に							
	ついては 16 単位以上とする。							
	【2017 年度前期分の経過措置】							
	成績基準②のうち、第3セメスター(2回生前期)について、2017年度前期分の							
	み8単位以上とする。							

## 以下の基準を設ける。

セメスター	前セメスター修得の「要卒単位数」
2	16 単位
3	16 単位
4	18 単位
5	18 単位
6	19 単位
7	19 単位

## 経済学部

※パッケージ履修をするプログラムの修得科目について、必要なパッケージ履修単位数を満たしていない場合であっても、選考に必要な単位数および GPA 算出に含める。

## 【2017年度前期分の経過措置】

回生	2016 年度修得の「要卒単位数」
2	32 単位
3	36 単位
4	38 単位

※留学(休学中の留学は含まない)によって2016年度に1セメスターのみの在学となる者については、各回生で設けた2016年度修得の「要卒単位数」の半分以上修得していれば、対象者に含める。

# 経営学部

セメスター	前セメスター修得の「要卒単位数」
2	16 単位
3	16 単位
4	18 単位
5	18 単位
6	20 単位
7	20 単位

※専門演習  $I \cdot II$  の修得単位については、選考に必要な単位数および GPA 算出に含める。

#### 【2017年度前期分の経過措置】

新2回生	2016年度修得卒業要件単位数が32以上であること
新3回生	2016年度修得卒業要件単位数が36以上であること
新4回生	2016 年度修得卒業要件単位数が 38 以上であること

- 1. 各セメスターで卒業に必要な単位を 18 単位以上修得していること
- 2. 以下の科目を履修していることを条件とする。

2 セメスター: 「基礎演習 I 」

3 セメスター:上記に加え「基礎演習Ⅱ」「基礎社会学」「専攻コア科目」

4セメスター:上記に加え「プロジェクトスタディ I」 5セメスター:上記に加え「プロジェクトスタディ II」

6 セメスター:上記に加え「専門演習」

7セメスター:上記すべての科目

- ※「基礎演習 I, II」、「プロジェクトスタディ I, II」、「専門演習」については、留学・休学により履修できなかった場合はこの限りとしない。
- ※産業社会学部への転籍者が「基礎演習 I, II」、「プロジェクトスタディ I, II」を カリキュラム上履修できない場合はこの限りとしない。

### 【2017年度前期分の経過措置】

1. 2016 年度に 36 単位以上取得していること。ただし、2016 年度までの累積取得単位(要卒単位)が 120 単位以上の場合はこの限りとしない。選考は 2016 年度 通年の GPA によるものとする。

#### 産業社会学部

- ※留学によって 2016 年度に 1 セメスターのみの在学となる者については、2016 年度に 18 単位以上」(要卒単位)取得していること。なお、留学期間中に取得した単位は選考対象外とする。ただし、 $A+\sim F$  評価で単位授与された科目は GPA の計算対象に含むものとして取り扱う(N、P 評価で単位認定された科目は GPA の計算対象には含まない)。
- 2.【新2回生】「基礎演習 I, II」、「基礎社会学」、所属する専攻のコア科目(「現代と社会」、「現代とメディア」、「現代とスポーツ」、「子どもと社会」、「現代と福祉」)を修得していること。
- 3. 【新3回生】③の科目及び「プロジェクトスタディ I , II 」を修得していること。
- 4.【新4回生】③④の科目及び「専門演習」を修得していること。
- ※「基礎演習 I, II」、「プロジェクトスタディ I, II」、「専門演習」については、留学・休学により履修できなかった場合はこの限りとしない。
- ※産業社会学部への転籍者が「基礎演習 I , II ]、「プロジェクトスタディ I , II ] を カリキュラム上履修できない場合はこの限りとしない。

	前セメスターにおいて卒業に必要な単位を 18 単位以上修得していること。	
	【2017年度前期分の経過措置】	
	1. 前年度「卒業要件単位 35 単位以上」(前年度 3 回生は単年度 25 単位)を修得し	
	ていること。(但し、前年度に留学により1セメスターしか本学に在学していなか	
国際関係学部	った者および、GS 専攻 9 月入学 1 回生は、N 認定を除き 18 単位以上修得していれ	
	ばこの条件を満たすものとする。また、DUDP 派遣者の過年度の認定単位は前年度	
	の取得単位とはみなさない。)	
	2.「留学」は在学期間に算入されるもののみとする(私費留学等は含まない)。	
政策科学部	GPA のみ	
200 A 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	【2017年度前期分の経過措置】 なし	
	奨学金の対象選考となるセメスターにおいて卒業に必要な単位を 12 単位以上修	
	得していること。※卒業に必要な科目(副専攻科目含む)を対象とする。	
	【2017 年度前期分の経過措置】	
	新 2 回生 2016 年度修得卒業要件単位数が 40 以上であること	
	新3回生 2016年度修得卒業要件単位数が40以上であること	
	新 4 回生 2016 年度修得卒業要件単位数が 24 以上であること	
文学部		
	※正規留学(休学は含まない)によって 2016 年度に 1 セメスターのみの在学となる	
	者については、2016年度に「20単位以上(要卒単位)」を取得していること。なお、	
	留学期間中に取得した単位は対象外とする。ただし、海外留学先で受講した本学開	
	講科目(A+~F 評価)で 2016 年度中に単位授与された単位(立命館大学ワシントン	
	大学平和学プログラムなど) については、選考対象の科目とし、GPA の計算に含め、	
	単位要件にも含めるものとする。	

	セメスタ	ー 前セメスター修得の「要卒単位数」	
	2	16 単位	
	3	16 単位	
	4	16 単位	
	5	14 単位	
映像学部	6	14 単位	
	7	10 単位	
	【2017 年度前期分の経過措置】 新 2 回生 2016 年度修得卒業要件単位数が 40 以上であること		
	新3回生	2016年度修得卒業要件単位数が36以上であること	
		1 202 10 1312(11 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
理工学部	【2017 年度前期分の経過措置】		
	【2017 年度後期	以降】	
	セメスター	前セメスター修得の「要卒単位数」	
	2~6	前セメスターにおける要卒修得単位数が 16 単位以上であること	
情報理工学部	7	前セメスターにおける要卒修得単位数が 12 単位以上であること	
	【2017 年度前期分の経過措置】		
	回生	必要となる「要卒単位数」	
		去2セメスターの要卒修得単位数の合計が36単位以上であること	
		去2セメスターの要卒修得単位数の合計が26単位以上であること	
	※選考についてはる。	は、2016 年度通年の GPA と累積 GPA を合計した上位者から順に選考す	
	【2017 年度前期 2016 年度(前期 条件とする。 【2017 年度後期 セメスター 2~6 7 【2017 年度前期 回生 2・3 過: 4 過: ※選考については	・後期)の修得単位数(要卒)の合計が36単位以上であること 前セメスター修得の「要卒単位数」 前セメスターにおける要卒修得単位数が16単位以上であること 前セメスターにおける要卒修得単位数が12単位以上であること 分の経過措置】 必要となる「要卒単位数」 去2セメスターの要卒修得単位数の合計が36単位以上であること 去2セメスターの要卒修得単位数の合計が26単位以上であること	

	1. 2~6 セメスター
	【2017年度後期分以降】
	・2 セメスター:
	前セメスターにおける要卒修得単位数が 18 単位以上であること
	・3~6 セメスター:
	前セメスターにおける要卒修得単位数が 18 単位以上であること、および原則
	として前セメスターに開講された実験科目をすべて修得していること
	【2017 年度前期分の経過措置】
生命科学部	2016 年度に要卒単位を 36 単位以上修得していること
	2. 7セメスター
	【2017年度後期分以降】
	前セメスターにおける要卒修得単位数が 12 単位以上であること、および原則と
	して7セメスターで卒業研究1の受講を許可されていること
	【2017 年度前期分の経過措置】
	2016 年度に要卒単位を 32 単位以上修得していること
薬学部	GPA のみ
\(\chi_1\) HIV	【2017 年度前期分の経過措置】 なし
スポーツ	GPA のみ
健康科学部	【2017年度前期分の経過措置】 なし
総合心理学部	GPAのみ
	【2017年度前期分の経過措置】 なし

# 別表3【GPAが同点の場合の取り扱い】

\_\_\_\_\_ GPA が同点であった場合の順位付けの考え方については、以下のとおりとします。

学部	合の順位付けの考え方については、以下のとおりとします。 GPA が同点の場合の取り扱い
法学部	複数の候補者が当落線上において同点で並んだ場合、次の基準を順次適用
1万子的	して選考する。
	1. 学部基礎科目の累積 GPA
	1. 子の基礎作品の系領 GFA 2. 専門科目の累積 GPA
	3. 選考時までに修得した要卒単位の総数
	4. 学部基礎科目の累積 GPA 計算式の分子部分の数値
経済学部	1. 修得総単位数
程/月子司  	1. 修存松平位数 2. 累積 GPA
⟨文学学が	
経営学部	1. 対象期間の修得卒業要件単位数
	2. 直近1年間の修得卒業要件単位数
	3. 直近1年間の GPA
立光九 <u>人</u> 兴初	4. 演習科目の成績
産業社会学部	以下の科目の順に、成績の良い学生を優先する。
	1回生後期 ①基礎演習Iと専攻コア科目の成績の平均 ②※
	2回生前期 ①基礎演習Ⅱと基礎社会学の成績の平均 ②※
	2回生後期 ①プロジェクトスタディIの成績 ②※
	3 回生前期 ①プロジェクトスタディⅡの成績 ②※ 3 同生後期 ②プロジェクトスタディⅡの成績 ②※
	3 回生後期 ①プロジェクトスタディ I・II の成績 ②※ 4 日本
	4回生前期 ①専門演習の成績 ②※
	※上記成績で同点の場合、①当該セメスターの取得単位数の多い学生 ②
	前セメスターで対象となっている科目の成績を基準の順に優先する。それ
	でも同点の場合には、執行部で審議の上、教学委員会で決定する。
国際関係学部	単年度 GPA が同値の場合は、累積 GPA の上位者を採用する。
	※留学期間中に取得した単位は、選考対象外とする。ただし、A+~F評価で
	単位授与された科目は GPA の計算対象に含むものとして取り扱う (N、P
	評価で単位認定された科目は GPA の計算対象に含まない)。
政策科学部	単年度 GPA が同点の場合、「A+」が多いものを優先する。「A+」数が同数の場
	合は、「A」が多いものを優先する。
文学部	単年度 GPA が同点の場合、専門科目の GPA 上位者を優先する。また、専門科目の GPA
	も同点の場合は、単年度要卒取得単位数の多い者を優先する。さらに、単年度要卒取
	得単位数も同点の場合は、累積要卒取得単位数の多い者を優先する。
映像学部	1回生:初年次コア科目(履修指定科目4科目)の「A+」評価が多い者。
	2 回生以上: 累積 GPA が上位の者。
	ただし、上記で選考しても同点であった場合は、「総修得単位数」が多い者
	を採用する。

理工学部	GPA が同点の場合は累積 GPA が高い学生を、さらにこれが同点の場合は、
	総修得単位数の多い学生を推薦・決定する。
情報理工学部	要卒総修得単位数で判断する。
生命科学部	前セメスターにおける要卒修得単位数が多い、累積 GPA が高い、要卒総修
	得単位数が多い者に授与する。ただし、比較はこの順で行い、差が生じた点
	で確定とする。
薬学部	奨学金の給付対象となるセメスターの 1 つ前のセメスターの単年度 GPA で
	選考する。ただし、薬学科 5 回生後期の給付は 4 回生後期までの累積 GPA に
	基づいて選考する。なお、同点者がいた場合は、まず累積 GPA、次に要卒単
	位の総修得単位数を基準として判断する。
スポーツ健康科学部	1.1回生
	「A+」の評価が多い者。ただし、左記で選考しても同点であった場合は、
	「総修得単位数」が多い者を採用する。
	2. 2 回生以上
	累積 GPA が上位の者。
総合心理学部	全ての回生において、奨学金選考の対象となるセメスターにおける「A+」の
	数の多い者から採用とする。「A+」の数が同数であった場合は、「A」の数の
	多い者とする。

以上